

<p>投稿年月日</p>	<p>平成 24 年 4 月 15 日</p>	<p>投稿者</p>	<p>市内在住 30 代 男性</p>
<p>ご意見・ご提案 内 容</p>	<p>有馬商業跡地について、こういう学校が、欲しいと思います。3 年間か、4 年間か、最低 3 つ以上、5 つ位まで、種類や、傾向が、片寄らず、パソコン系、農業系、必修などで、あと何種類か、仕事をおぼえる事のできる学校が、あればいいと思います。何種類か、仕事をいっぺんに覚えるために、このノウハウは、ここで使えるとか、効率を上げるためのヒラメキを多く出せる人材を育成します。能率をどんどん上げていき、いろんな分野から、視点を見る目を養います。とにかくいろんな職種を経験させてあげて、いろんな考え方を学びます。この学校に価値が出れば、付加価値的に、いろんな会社の子会社というか、フランチャイズを作るのが狙いの一つです。そして、町が、発展すればいいと思います。</p>		
<p>回 答</p>	<p>有馬商業高校跡地活用について、貴重なご提案を頂き誠にありがとうございます。</p> <p>ご存知のとおり、有馬商業高校は平成 20 年 3 月末をもって閉校となり、その後活用がされないまま、グラウンドには雑草が生い茂っている状況であります。</p> <p>本市といたしましても、地域振興を図るためにも所有者である長崎県に対して要望活動を行なってきたところであります。</p> <p>その内容としては、平成 18 年 9 月に県立農業大学校の移転を前提とした「県立農業大学校あり方検討委員会」を立ち上げるとの知事の記者発表を受けて、平成 18 年 10 月と平成 19 年 5 月に、知事と県議会議長に対して「県立農業大学校誘致に関する要望書」を提出して、機会あるごとに長崎県に対して要望を行ってまいりました。</p> <p>本市の要望がなかなか叶わないため、平成 22 年 8 月に行なった知事要望において、有馬商業高校跡地の活用策について本市で検討してよいかとの確認を行い、平成 22 年 10 月 28 日に有馬商業高校跡地活用内部検討委員会を設置し、合計 6 回の委員会を開催してその活用案についての報告書を取りまとめました。</p> <p>その後、市民の意見を取り入れた活用案を取り入れるべきとの意見により、平成 23 年 7 月 8 日に市内の有識者、住民代表等 11 人の委員さんによる有馬商業高校跡地活用外部検討委員会を設置し、合計 5 回の委員会を開催し、活用案について報告書を取りまとめていただきました。</p> <p>その報告書活用案により、現在長崎県との協議を行なっている最中であり、活用案については現在のところ公表できませんが、早いうちに市民のみなさまに対しても公表できるものと考えておりますので、今しばらくお待ちください。</p> <p>有馬商業高校跡地の活用策については、このような手順を踏んで現在長崎県と協議中でございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>今後共、本市の地域振興のためにご指導ご意見を賜りますようお願い申し上げます。回答と致します。</p>		
<p>担当課</p>	<p>企画振興課</p>		